



一つひとつの田畑を 一つの大きな農場に

西梅野ファーム



西梅野ファーム
代表理事
こやなぎのぶひろ
小柳 信博さん

耕作放棄地の増加や個人農業の経営難という課題を抱えていた武雄市西梅野地区。平成18年に地域で農業に取り組む集落営農をスタート。法人化を果たした現在、24ヘクタールの農地で、統一ブランド「西梅野ファーム」として栽培・出荷を行っています。
代表の小柳さんは「法人化によって、個々の農地を『一つの大きな農場』として管理できるようにになりました。定例会議を開き、作業計画や情報を共有することで、農業の質を高める」と同時に、地域全体の結束も強化。おかげで収穫量も売上も伸びてきました」と話します。
また、「農業は地域をつなぐ力がある」と語る小柳さんののもと、農業を軸にした地

勉強会で
コミュニケーションアップ!



楽しめる農村づくりが
モットーです!



トピックス 農業で元気に さが中山間を応援!

平坦な地域と比べて、生産条件が不利なところが多い中山間地域では、創意工夫を凝らしながら農業に取り組まれています。農業で元気な中山間地域を目指すチャレンジを応援してください!

詳しくは
こちら



こうほく ふうどフェス 2025開催! 3月29日

ファーマーズマーケットと江北町の風土を知る盛りだくさんのイベントが開催されます。詳しい情報は、ベリーボタンのInstagramにてご確認ください。

詳しくは
こちら



江北町の農業について
学校で出前講座!



子どもたちの
農業体験!



チームだからできる 農業の可能性

農業にチームで取り組むことで、地域の絆を深め、持続可能な未来を築いている地域があります。今月号では、地域が一体となって農業に関わることで、楽しさと活力を生み出す、農業を軸にした地域づくりを紹介します。

農業を 「人と地域をつなぐ手段」に

ベリーボタン

地元農業を発信するために結成された江北町の若手農業者グループ「ベリーボタン」。農産物の無人販売やマルシェをはじめ、大人も子どもも楽しめるイベントを通して、農業と地域をつなぐ取り組みを続けています。
活動の原点は、リーダーの北原さん自身の経験にあります。「農業を始めた当初は知識も興味もなく、戸惑いの中にいました。しかし、同じ農業の若手仲間との関わりを通じて農業の良さを再発見し、『農業は作物を育てるだけでなく、人と地域をつなぐ手段』と考えるようになりました」と話します。
そんな思いを共有するメンバーと共に、地域の農産物を集めた「へその町ファーマーズマーケット」を開催。さらに、江北町の風土に触れる「こうほくふうどフェス」や、

ピザづくり・カヌー体験が楽しめる「チャレンジサマーキャンプ」も企画し、農業の枠を超えた活動に取り組んでいます。チームの理念は「こうほくふうど」。子どもたちが将来「戻ってきたい」と思える町づくりを目指し、農業を軸に地域の素晴らしさを発信しています。農業を楽しみながら地域を盛り上げるベリーボタンに、今後も注目です。



サマーキャンプで
地域の良さを満喫!

ベリーボタン
きたはらりょうた
北原 良太さん